

施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	3 商工・物流
----	---------

評価 責任 者	所属	経済局 商工部 産業振興課
	氏名	課長 石川 賢一

政策	2 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります
----	--------------------------

施策	1 新市場・販路開拓に対する支援
----	------------------

施策の 目的	近年の経済のグローバル化の進展を踏まえ、国内外の新たなマーケットへの進出を目指し販路開拓活動等に意欲的に取り組む中小事業者の後押しを行うことにより、本市経済の活性化を図ります。
-----------	--

(1) 総合評価

総合 評価	令和元 年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	成果指標について目標を達成しており、施策を構成する主要事業においても一定の成果を挙げているため。
	令和2 年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	成果指標について、代替指標により目標がおおむね達成できており、施策を構成する主要事業においても一定の成果を挙げているため。
	令和3 年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	成果指標について、代替指標により目標がおおむね達成できており、施策を構成する主要事業においても一定の成果を挙げているため。
	令和4 年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	成果指標について目標を達成しており、施策を構成する主要事業においても一定の成果を挙げているため。

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。－：評価できない。
 ※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

(2) 成果指標

成果 指標	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率（%）	評価	目標値の算出根拠
	大規模展示会出展等件数	43件	1	42件	43件	102.4%	a	
2			42件	23件	54.8%	d		
3			42件	26件	61.9%	d		
4			42件	42件	100.0%	a		
			1					
			2					
			3					
			4					
指 標 成 果 以 外 の	事務事業総点検において、大規模展示会出展等事業補助金の利用事業者の、会期中の名刺交換数に対する商談・成約に至った件数を成果指標としている。 令和2年度においては12.5%を目標としたが、実績は11.3%（A評価）となり、一定の成果を得られたと考えている。 令和3年度においては11%を目標としたが、実績は10.1%（A評価）となっており、一定の成果を得られたと考えている。		1					
			2					
			3					
			4					

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
大規模展示会出展等事業補助金	補助要件を緩和するとともに、市内中小企業と多くの接点を持つ金融機関や産業支援団体に対して補助金の周知を行った。	1	1	8,600	0	7,918	0.4	0.0	0.0	○
			2	14,400	0	4,499	0.4	0.0	0.0	
			3	8,400	0	4,946	0.4	0.0	0.0	
			4	8,400	0	8,315	0.4	0.0	0.0	
大規模展示会共同出展事業	市内中小製造事業者とともに「機械要素技術展」に静岡市ブースを出展。本市製造事業者の販路開拓を支援するとともに、技術力と本市施策のアピールを行った。	2	1	5,279	0	5,163	0.4	0.0	0.0	○
			2	5,426	0	5,343	0.4	0.0	0.0	
			3	5,426	0	5,422	0.4	0.0	0.0	
			4	5,607	0	5,606	0.4	0.0	0.0	
市内工業製品の利活用促進事業	コロナ禍において、市内事業所の事業継続を支援すべく、事業継続計画（BCP）のモデルプランの作成を行った。 ※令和2年度に事業継続計画（BCP）のモデルプランを作成し事業終了	5	1	607	0	0	0.1	0.0	0.0	○
			2	688	0	497	0.1	0.0	0.0	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
地場産品販路開拓事業	①静岡駅構内 駿府楽市 特産品展示コーナーにおいて企画展を開催 ②東京都新宿駅西口において「静岡市の特産品東京展示会」を開催	4	1	27,230	0	27,059	0.3	0.0	0.0	○
			2	21,770	0	21,684	0.3	0.0	0.0	
			3	23,167	0	22,965	0.3	0.0	0.0	
			4	26,722	0	26,377	0.3	0.0	0.0	
地域産業振興ブランド認証事業	市内外のイベントに出展し、既存認証品のPRを行った。	3	1	4,075	0	3,383	1.0	0.0	0.0	○
			2	3,562	0	3,272	1.0	0.0	0.0	
			3	3,220	0	1,873	1.0	0.0	0.0	
			4	3,059	0	479	1.0	0.0	0.0	

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。

※達成状況の凡例（◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、—：計画実施時期が到来していない、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった）

(4) 今後の取組や方向性

令和2年度及び令和3年度は成果指標について目標値を下回ったが、これは新型コロナウイルス感染症の影響を受け、展示会の開催件数自体が減少したことや、市内企業が展示会出展に対して慎重な姿勢をとらざるを得なかったことが主な原因であることから、全体としては、本施策は総合評価のとおり一定の成果を得ることができた。
新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着くことで、市内企業の展示会出展意欲は益々高まっていくことが想定される。今後も市内企業の主要課題である新市場・販路開拓に対する支援を継続することで、国内外の新市場進出に意欲的に取り組む市内企業の後押しを行っていく。

施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	3 商工・物流
----	---------

評価責任者	所属	経済局 商工部 産業振興課
	氏名	課長 石川 賢一

政策	2 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります
----	--------------------------

施策	2 新製品・技術開発等に対する支援
----	-------------------

施策の目的	近年の経済のグローバル化の進展を踏まえ、国内外のマーケットをターゲットとした新たな製品・技術の開発に意欲的に取り組む中小事業者の後押しを行うとともに、その成果を情報発信し、他の事業者の意識啓発・気運醸成につなげていくことにより、本市経済の活性化を図ります。
-------	--

(1) 総合評価

総合評価	令和元年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	成果指標を達成し、施策を構成する主要事業においても一定の成果を挙げているため。
	令和2年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	成果指標を達成し、施策を構成する主要事業においても一定の成果を挙げているため。
	令和3年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	成果指標を達成し、施策を構成する主要事業においても一定の成果を挙げているため。
	令和4年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	成果指標を達成し、施策を構成する主要事業においても一定の成果を挙げているため。

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。－：評価できない。
 ※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

(2) 成果指標

成果指標	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率（%）	評価	目標値の算出根拠	
	成果指標	新製品等開発事業に対する支援事業者数（新商品等開発事業補助金）	3者	1	3者	3者	100%		a
2				3者	8者	266%	s		
3				3者	7者	233%	s		
4				3者	6者	200%	s		
新製品等開発事業に対する支援事業者数（ニューウェーブしずおか創造事業）		6者	1	6者	6者	100%	a	過去の参加者数から参加事業者数6者を目標とした。	
			2	6者	6者	100%	a		
			3	6者	6者	100%	a		
			4	6者	6者	100%	a		
指標成果以外の			1						
			2						
			3						
			4						

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
新商品等開発事業費助成事業	○新商品開発事業 市内中小製造事業所における、新たな技法を用いて新商品を開発する事業若しくは、従来にない機能を具備した商品を開発する事業に対し、事業費の一部を助成 ○産業財産権出願事業補助金 「特許」「実用新案」の出願に係る出願経費の一部を助成	1	1	4,800	0	4,800	0.4	0.0	0.0	○
			2	7,500	0	3,742	0.4	0.0	0.0	
			3	4,800	0	3,773	0.4	0.0	0.0	
			4	4,800	0	4,095	0.4	0.0	0.0	
ニューウェーブしずおか創造事業	6チームが協働により木商品等を各開発。首都圏展示会にて展示発表し販路開拓に努めた。 参加者：メーカー及び工房 6者、公券デザイナー6者 開発品：木製家具、茶箱製造、木製挽物、ガラス宝飾、成型合板製造、アウトドア製品製造等	1	1	6,437	0	6,135	0.1	0.0	0.0	○
			2	6,437	0	4,692	0.1	0.0	0.0	
			3	6,437	0	6,374	0.1	0.0	0.0	
			4	6,437	0	6,392	0.1	0.0	0.0	
事業高度化機械設備設置補助事業	市内中小企業と多くの接点を持つ金融機関や産業支援団体に対して補助金の周知を行った。また、問い合わせのあった案件については積極的に訪問し、補助金の申請手続きの支援や課題のヒアリングを行った。	2	1	40,000	0	31,615	0.4	0.0	0.0	○
			2	80,000	0	76,272	0.4	0.0	0.0	
			3	61,349	0	61,349	0.4	0.0	0.0	
			4	80,000	0	29,435	0.4	0.0	0.0	
東京オリンピック・パラリンピックメダルケース等提案事業	令和元年度にて終了	3	1	1,000	0	752	0.2	0.0	0.0	○
			2	—	—	—	—	—	—	
			3	—	—	—	—	—	—	
			4	—	—	—	—	—	—	
			1							
			2							
			3							
			4							

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。

※達成状況の凡例（◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、—：計画実施時期が到来していない、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった）

(4) 今後の取組や方向性

今後も引き続き新製品・技術開発に向けた支援を行うとともに、首都圏展示会への出展やテストマーケティング等の実施により、開発後の販路開拓に対して支援を行うことで、市内企業の競争力・販売力の強化に繋げていく。

施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	3 商工・物流
----	---------

評価 責任 者	所属	経済局 商工部 産業政策課
	氏名	課長 桐野 勝

政策	2 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります
----	--------------------------

施策	3 中小企業の経営基盤・競争力の強化
----	--------------------

施策の目的
本市の雇用や経済を支えるのは、市内事業所の大部分を占める中小企業であります。その中小企業が安定的な経営基盤を築き、持続的な発展をしていくことにより、雇用が確保され経済が活性化されていきます。そこで、市場のニーズをとらえた商品やサービスを提供していくために必要となる金融や各種補助金による支援や表彰事業を行い、中小企業の経営基盤・競争力の強化を目指します。

(1) 総合評価

総合 評価	令和元 年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	桜えび不漁により経営に苦しむ桜えび関連商工事業者を支援する制度融資を設けるなど社会情勢に応じた支援を実施し、成果指標の目標値を達成することが出来たため、評価をAとした。
	令和2 年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	新型コロナウイルス感染症の拡大において、静岡県の制度融資「経済変動対策貸付（新型コロナウイルス感染症対応枠）」と協調した利子補給制度を設けるなど、市内事業者の事業継続のための財政支援を実施し、成果指標の目標値を達成することが出来たため、評価をAとした。
	令和3 年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	令和3年11月の景況調査結果によると、経営上の問題点の調査によると資金不足・資金調達を問題としている市内事業者は5%であったため、円滑な資金調達がなされていることから、評価をAとした。
	令和4 年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	令和4年11月の景況調査結果によると、資金不足・資金の調達難を経営上の問題点と回答した市内事業者は3.5%であったため、円滑な資金調達がなされていることから、評価をAとした。

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。－：評価できない。
※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

(2) 成果指標

成果 指標	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率（%）	評価	目標値の算出根拠
	円滑な資金調達がなされている中小企業者の割合	51.7% (H28-H30平均)	1	52.0%	51.6%	99.2%	a	直近3ヶ年（H28-H30）の平均値51.7%から、市内事業者の円滑な資金調達の維持を目的に、目標値を52.0%に設定。 ※令和3年度から資金調達に係るアンケート未実施のため、実績値不明
			2	52.0%	54.0%	103.8%	a	
			3	52.0%	—	—	—	
			4	52.0%	—	—	—	
		1						
		2						
		3						
		4						
		1						
		2						
		3						
		4						

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
中小企業融資制度利子及び信用保証料補給事業	中小企業の運転資金、設備資金を対象とした借入に関する利子、県制度経済変動対策資金(新型コロナウイルス感染症対応)の当初3年間の利子及び信用保証料の補給	1	1	273,385	0	121,478	1.3	1.0	2.0	○
			2	465,884	0	388,855	1.3	1.0	2.0	
			3	841,553	0	712,333	1.3	1.0	2.0	
			4	774,631	—	684,292	1.3	1.0	2.0	
CSR活動表彰事業	企業の持続的発展や社会の健全な発展に寄与する活動を積極的に行う中小企業等を表彰	5	1	1,749	0	1,506	0.6	0.0	0.0	○
			2	138	0	0	0.5	0.0	0.0	
			3	2,012	0	862	0.6	0.0	0.0	
			4	1,760	0	1,056	0.6	0.0	0.0	
中小事業者技術表彰事業	新規又は独創性の高い技術を有し、意欲的に事業活動を展開する事業者の表彰及びPR活動 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。	5	1	1,135	0	967	0.7	0.3	0.0	○
			2	1,125	0	0	0.7	0.3	0.0	
			3	1,125	0	521	0.7	0.3	0.0	
			4	996	0	585	0.7	0.3	0.0	
事業高度化機械設備設置補助事業	事業高度化に向けた機械設備の導入に対する助成	1	1	40,000	0	31,615	0.4	0.0	0.0	○
			2	80,000	0	76,272	0.4	0.0	0.0	
			3	61,349	0	61,349	0.4	0.0	0.0	
			4	80,000	0	29,435	0.4	0.0	0.0	
静岡市清水産業・情報プラザ運営事業	清水産業・情報プラザの管理、運営(創業支援事業、中小企業製造業者現場改善支援事業、産学連携事業、情報化支援事業)	3	1	65,322	0	65,320	0.7	0.0	0.0	○
			2	68,355	0	68,204	0.7	0.0	0.0	
			3	66,631	0	66,628	0.7	0.0	0.0	
			4	67,160	0	65,567	0.7	0.0	0.0	
静岡市産学交流センター運営事業	産学交流センターの管理、運営	3	1	110,507	0	109,813	0.7	0.0	0.0	○
			2	112,307	0	112,025	0.7	0.0	0.0	
			3	129,372	0	123,574	0.7	0.0	0.0	
			4	126,655	0	125,726	0.7	0.0	0.0	

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。

※達成状況の凡例(◎:計画より進んでいる、○:計画どおり進んでいる、△:計画より遅れている、—:計画上実施時期が到来していない、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった)

(4) 今後の取組や方向性

本施策は総合評価欄のとおり期待どおりの成果をあげることができたが、物価高騰等の新たな課題が生じているため、これまでの取組に加え社会経済状況の変化や事業者ニーズを踏まえた事業を実施することにより、中小企業の経営基盤・競争力の強化に向けて引き続き取り組んでいく。

施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	3 商工・物流
----	---------

評価 責任 者	所属	経済局 商工部 商業労政課
	氏名	課長 平尾 隆司

政策	2 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります
----	--------------------------

施策	4 個店、商店街、まちの維持・成長支援
----	---------------------

施策の 目的	個店（個別事業者）、商店街（事業者らによる連携組織）、まち（都市環境、地域環境）の3つの視点から、事業者やまちづくり関係者による自立的な取組を支援し、「都心商業の強化」と「地域商業の充実」を図ることにより、「商都静岡」にふさわしい、「都市力を高め、市民生活を豊かにする商業」の実現を目指します。
-----------	---

(1) 総合評価

総合 評価	令和元 年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	主要事業を計画通りに実施し、成果指標の目標値を達成したため
	令和2 年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	主要事業を計画通りに実施し、成果指標の目標値を達成したため
	令和3 年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	主要事業を計画通りに実施し、成果指標の目標値を達成したため
	令和4 年度	A：施策の目的が達成されている。	理由	主要事業を計画通りに実施し、成果指標の目標値を達成したため

※【評価基準】S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。－：評価できない。
 ※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

(2) 成果指標

成果 指標	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率（%）	評価	目標値の算出根拠
	中心市街地主要通りの店舗数	静岡548店 清水198店 (H30)		1	静岡553店・清水200店	静岡559店・清水200店	100.1%	
2				静岡555店・清水200店	静岡567店・清水197店	101.2%	a	
3				静岡558店・清水200店	静岡576店・清水198店	102.1%	a	
4				静岡560店・清水200店	静岡563店・清水199店	100.3%	a	
指標 成果 以外の			1					
			2					
			3					
			4					

※【評価基準】s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

